

山形の母なる川

最上川

山形県倫理法人会
広報ものがみかわ
令和2年8月28日発行
www.yamagata-rinri.net

vol. **62**

広報
最上川
vol. **62**



令和二年度会長挨拶 晋道純一
倫理経営企業訪問 えがおのげんば
株式会社 タケダ自動車 P.47

一般社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

【発行】山形県倫理法人会
【発行人】晋道純一 【編集人】土屋忠彰

【表紙題字】中村俊光氏

モーニングセミナー レポートキャラバン!

モーニングセミナーは一連の決まりに沿った基本を元にそれぞれの単会で工夫を凝らして運営しています。このコーナーでは各単会を回ってモーニングセミナーの様子をレポートします!

MS委員会 令和2年度委員長/小林秀樹
副委員長/海野晋



Report

寒河江市倫理法人会

毎週金曜 6時～7時
会場：ホテルシンフォニー 本館 (JR左沢線寒河江駅南口前)



当会は、平成15年7月に山形県では4番目の単会として設立しました。モーニングセミナー会場となるホテルシンフォニー本館は温泉付ホテルですので、温泉好きな講師の方々にはとても喜んで宿泊いただいているようです。

セミナー会場に入ると、目に入るのが演台に掛かっている真っ赤なバレンです。これは平成18年5月18日に行われた倫理講演会が全国第一位、翌平成19年の倫理講演会は全国第二位の動員数を達成したということで倫理研究所より賜りました。寒河江の特徴でもある全国に数枚しかないと言われるバレンを、ぜひ見いらしてください。

朝食は、地元の山菜や野菜たっぷりおかずと寒河江産つや姫のご飯が人気です。コーヒーも飲み放題です。時間があれば、食事後に自慢の温泉に浸かっていくのもオススメです。



Report

南陽市倫理法人会

毎週火曜 6時30分～7時30分
会場：證誠殿 (しょうじょうでん)



ご再建1200年を誇る熊野大社様が鎮座します鎮守の森の前に、南陽市倫理法人会モーニングセミナーが行われる證誠殿があります。證誠殿の名前は、かつてこの地に建っていた熊野本宮大社の別当寺院證誠寺に由来するそうで證誠寺跡の石碑が立っています。

北野達南陽市倫理法人会会長のこの日の会長挨拶は、新型コロナウイルス感染者の数についてのお話でした。確かな情報源から公表されたデータを読み解くことの重要性を教えてくださいました。

朝食は證誠殿口ビーでいただきます。食事代は500円です。

食事中、熊野大社様の隣にある宮内小学校に登校する子供たちの元気な声が聞こえてきました。飯塚相談役が「子供たちは森をみながら6年間学校に通うんだよ」と笑顔で教えてくださいました。鎮守の森が子供たちを温かく見守っているように見えました。



発行
山形県倫理法人会
〒990-0835
山形市やよい二丁目1-47
TEL.023-647-5582
FAX.023-646-7660
www.yamagata-rinri.net
発行日
令和2年8月28日



編集後記

山形県倫理法人会 広報委員長 土屋忠彰

令和二年度最後となります最上川62号を発行することができました。今年度を振り返ってみると、モーニングセミナーキャラバン、『今』を訊く』の二つの新しい連載企画を始めることができたと思ったところに、新型コロナウイルス禍です。イベントの中止により、企画の再検討という影響が出ましたが、今後の企画を考える機会になったと思います。

最後に、皆様方のおかげで広報委員長2年目を終えることができました。深くお礼申し上げます。

令和二年度を振り返って



山形県倫理法人会会長 晋道純一

令和二年度、山形県倫理法人会の運営及び活動は年度末を迎えております。加えて広報誌「最上川」VOL.62も年度最終発行となります。本号では、今年度を振り返ってみたいと思います。

さて、令和二年度の活動テーマを「和を以て貴しと為す」地区制ならではの調和力と連帯力で楽しい倫理活動の年度へといたしました。また九月初頭の県内会員数は一九〇七社であり、普及拡大年度末目標を二〇二〇社と定めました。地区制導入二年目の四地区が一丸となり達成しようと強い決意のもとで

新年度がスタートいたしました。そして達成に向けての最重要課題は一〇〇社未満の単位倫理法人会を地区と県の支援体制で一〇〇社復帰を目指し、十六単会はステップバイステップで毎月一社の普及拡大を、県と単会の役職者が上下一心となつて実践してほしいと願いました。更に新単会設立につきましましては、期中の普及拡大進捗状況によつては計画することいたしました。そのような活動計画を掲げ、令和元年九月一日から実体運営と活動が本格始動した訳です。新年度定例行事である辞令交付式が、令和元年九月四日にパレスグランデールで一六六名の会員出席のもと、凜とした空気の中開催されました。内田局長より辞令が交付された新役員には、緊張と責任感に満ちた清々しい顔を垣間見ることができました。そして、十月二十九日には、会員大会がメトロポリタン山形で開催されまし

た。会員大会では、令和元年度事業経過報告・令和二年度事業計画と活動方針発表などが報告され、九八名の会員から出席をいただきました。記念講演会には、原田メソッドで多くの企業経営者から注目されている原田隆史氏をお招きし、二二九名という聴講者が参加され盛大に執り行われました。定例行事も終わり十六単会役員のみなさまから、目標達成に向け普及拡大に奮励していただきましたが、二月十九日の中間目標一八八六社に対して結果は、一七四三社で達成率は九二・四一％と未達成に終わってしまいました。これではいけない！今年度末の目標達成二〇二〇社にまったく手が届かなくなると焦っている時に、新型コロナウイルス感染症が中国武漢市で発生し世界に拡散して、その後国際社会の混乱と世界経済に深刻な影響を及ぼしていることは、みなさんご承知の通りでございます。山形県倫理法人会も集会型である経営者モーニングセミナーや諸活動の中止が三カ月以上続きました。そんな中、四

地区単位でのウェブモーニングセミナーを実施したり、県役員会と運営委員会をリモート会議で開催するなど想定外の体験をしました。それが現在は、言い過ぎかもしれませんが常態化しております。

このようなインベーションの出来事もありましたが、反面コロナショックで会員企業の退会も増えつつあることが不安要素であり、一方普及拡大の再開もビフォーコロナのようにできない現実があります。今年度末目標の二〇二〇社達成は、ミラクルでも起きない限り厳しい局面にあります。しかし、最後まで諦めずに今出来ることをしっかり実践し、次年度に繋げていこうと考えております。人生には三つの坂、上り坂・下り坂・まさかがあると云われます。このまさかを超越するには信成万事の実践が重要だと思っております。

結びになりますが、令和二年度の山形県倫理法人会の運営及び活動に、会員のみなさまから多大なご尽力をいただいたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



山形県倫理法人会 令和二年度 新旧役職者基礎研修と総括パネルディスカッション開催

7月21日山形グランドホテルを会場に、通常3名掛けの長テーブルに1名のみ着席でソーシャルディスタンスなど万全の新型コロナ感染防止策を施し開催されました。

基礎研修は、北海道・東北方面松本真志方面長がリモートにて「新たな8万社体制を目指して」をテーマに講義を行ない新しい年度に向け改めて役職の意義を再確認しました。

相田幹事長の進行で行われた総括パネルディスカッションでは、最初に県全体の総括として晋道会長よりお話があり「地区制ならではの調和力と連帯力で楽しい倫理活動を行おうとスタートし、全単会で一歩ずつ着実な活動をしたかったが、中間より新型コロナの影響を受け計画実行については歯痒さが残る一年となった」と、振り返られました。

●地区制導入の成果について

松田山形地区長「会員数の多い地区の為、まとまりにくく苦勞する面はあったが、新型コロナのピンチならではの組織力で地区制の一体感を感じる事ができた」 斎藤村山地区長「ZOOMの利用で成果があった事も多い。各会長によるスピーチ内容が素晴らしいものになり、会長同士の連携も大変進んだ」 村山置賜副地区長「地区の連携の中で、役職者の皆様からの成果や改善の話が積極的に発言されるようになった。連帯意識が強ま

り今後も楽しみだ」 佐藤庄内地区長「庄内事務局の立ち上げは経済効果の他、地区一体感の効果に拍車をかけた。コロナ自粛後はいち早くZOOMセミナーを取り入れ、県外からも参加いただくことができた」

●普及拡大委員会の総括

小野木委員長「前半は普及拡大マニュアルを作り上げる事ができたのが成果。来年度は、さらに新しい生活様式に合わせて改善も検討する。後半は思うように普及活動できなかったが、ZOOMによる連携や発信が浸透してきたのは、普及の点でも光を見出せる」

次年度方針発表に先駆け、会長、各地区長、宮下普及拡大次期委員長より次年度に向けての決意発表がありました。地区制3年目、4地区がワンチームとなり1816社復帰に全力を尽くすと晋道会長が口火を切り、モーニングセミナーをもっと盛り上げよう、「あの人がいるから倫理に行きたい」と言われる魅力的な人になろう、ZOOM活用で連携力を上げよう、地区合同モーニングセミナーを行おう、普及拡大の新方式を考えよう、など大変前向きで明るい宣言がなされました。最後に倫理研究所法人局の和田毅部長(7/22現在) よりリモートによる総評と、「現場を肯定的に受け止め、望みを失わない事。明けない夜はない」とエールをいただきました。



えがおの げんば



■ えがおの人
北村山倫理法人会 専任幹事
武田 博志 氏
東根市生まれ



■ えがおの現場
株式会社 タケダ自動車

[代表取締役] 武田 博志
[創業] 1933 (昭和 8) 年
[所在地]
本 社 / 東根市東根甲 5976
野川店 / 東根市野川 2516
[事業内容] 新車・中古車販売、車検、自動車整備全般、保険取扱、板金塗装、24時間レッカー、車買取



いつも気さくに話しかけてくれる姿が印象的な武田社長は、九〇年もの間地域に根差し、事業を展開してきた株式会社タケダ自動車の三代目です。昨年十一月には現在地に新社屋を移転。創業者の意思を受け継ぎながら、時代と地域のニーズを見据えた車の販売店を目指して日々奮闘する武田社長に現在の思いをうかがいました。

地域から必要とされる存在であり続ける

一九三三(昭和八)年、祖父が東根市内に土地を借り、二畳ほどの店舗で自転車店を始めたのが当社の原点です。職人氣質の祖父は、暗いうちから夜遅くまでよく働いたと聞いています。そのかいもあり、当時、自転車の新車販売で全国二十番以



内に何度も入ったそうです。父の時代になってバイクや四輪自動車を扱うようになり、時代の流れの中で扱う商品も変わってきましたが、変わらないのは地域から必要とされる存在であり続けたいという思いです。



箱と看板があればという勘違い

二〇〇六年に父からバトンを渡されて社長になり、同時に二店舗目である社屋をオープンさせました。ただ、当時の私は「新しい箱(店舗)と看板(これまでの信用)があれば、お客さんは来てくれる」と軽く考えていたんです。確かに最初の二年間

は売上も伸びましたが、次第に業績は悪化していきました。それでも、お客さんは人ではなく、箱に集まるという考えを変えることなく、「不景気だから」と世の中のせいにはかりしていたんですね。しかし、そのような状況ですから社員も毎年のように辞めていくわけです。そんな私の意識を変える引き金になったのは、お客さんの「お宅の店は担当者

倫理との出会い

がなくなるから、車のことで困っても誰に聞けばいいのかわからない」と言うひと言でした。

業績の立て直しに悩んでいたその頃、自宅を建て直す話が持ち上がりました。自宅よりも経営をなんとかしなければという思いはありましたが、家族の希望もあり、知り合いの設計士に相談。そこで紹介された市村工務店の市村社長との出会いが、倫理法人会を知るきっかけとなりました。それからまもなく天童市倫理法人会に入会。しかし、早朝からのモーニングセミナーは負担になることも。最初のうちは「この人なら金儲けの秘訣を教えてもらえるかも」と、講師の顔ぶれを見ながら「手段」だけを教えてもらうつもりで参加していました。でも実際に話を聞くと、社員との関わり方や苦勞を乗り越えてきた話がほとんどで、誰も手段の話なんてしないわけです。そんなことで会社経営がうまくいくのだろうか…と、しばらくは半信半疑で話を聞いていましたね。

気付いたのは私自身の意識改革の大切さ

ある時、会員の会社を見学する機会がありました。行ってみると、社員が掃除をしていて挨拶もしっかりしてくれる。うちの会社には無い。その様子を見て衝撃を受けました。頑張っている経営者と知り合い、その姿を目で見て、耳で聞いていくうちに、会社は人で成り立っていること。そして、会社は誰のためにあるのか、社員のために何をどうすべきかを少しずつ考えられるようになっていきました。自分本位ではなく、社員がやりがいを持って働けるように目を向けていくことが私に課せられたことだと気づかされたんです。そう意識するようになってから辞める社員もいなくなりましたね。



個々を認め合い、 発言しやすい職場づくり

現在、当社ではチームに分かれ、月に一度勉強会を開いています。営業、整備、経理など各部署の社員が



一つのチームとなり、テーマを設けて意見を出し合います。こうした取り組みを続ける中で発言しやすい環境をつくり、社員同士が一人ひとり認め合いながらチームとして仕事をしていく大切さを伝えたいと思っ



仕事の原点を学ぶ ボランティア活動

しています。私自身、仕事の時間は社員と楽しく関わり、個々の成長を見守っていききたいと思う気持ちは、自分の子どもと一緒に。常に楽しく、笑顔で働ける職場づくりをこれからも目指していきたいです。

仕事の原点は、人に喜んでもらうこと。このことを強く感じたのは、東日本大震災から数年間に渡り、南三陸町で行ったボランティア活動です。社員みんなが現地に泊まって、泥片付けや人手不足になった漁業の手伝いをしました。「本当に助かった、頑張ってくれてありがとう」と、地元の人達から感謝されるのが何よりも嬉しく、社員たちはやりがいを感じたようです。レッカーサー



東日本大震災後、南三陸町にて



ビスの仕事も同じ。夜中に関山峠で動かなくなった車を助けに行くこと涙を流して喜んでくれることも。仕事やボランティア活動を通して、人と一生懸命向き合うことの大切さを教えてもらっています。

会社を継ぎ、 継がせるということ

私は祖父に「お前は後継ぎだ」と小さい時から言われて育ちました。一度も後を継ぐことに疑問を抱いたこともありませんでした。同じように、現在高校三年生の長男にも後継者という立場について、機会があるたびに伝えていきます。創業八〇周年記念の席では、当時小学四年生だった息子に名刺を作り、お世話になっている方々に「僕が四代目です」と挨拶をさせてもらいました。「子どもがやりたいなら継がせる」という考えもあるかと思いますが、私は小さい時から自覚させていくことが大事だと思っています。



この時代に必要なのは 受け入れること

る番組で、出演者が「仕事ができる人は想像力と解決する能力を持っている人だ」とコメントしていました。それを聞いて、傍らに座る長男に「仕事をしていると毎日のように問題が発生する。そのときにどう対応していくかは先を見据えた想像力と、培ってきた経験が解決する能力に繋がる。乗り越えられない試練を神様は与えないから」と教えたり。日常の中で少しずつ本人が理解し、自覚していつてくれればと思っています。

消費税がアップしてまもなく新社屋をオープンさせ、その後のコロナ禍による世界状況の変化、腰痛悪化による入院と、私にとって激動の数か月でした。それらすべてを受け入れることの大切さも実感しましたね。入院して一歩引いて自分の会社を見た時に、社員の成長を確認できたことも大きな気づきでした。仕事、後継者、家族について改めて考える良い機会になったと感じています。

元気をチャージできる場

私自身がそうであったように、入会したもののなかなか会の活動に参加できない方も多いようです。倫理を学んで感じるのは、会社の将来を考えたときに目先のことだけでなく、少し違う視線で経営について向き合えるようになったということ。人それぞれ、経営面で様々な迷いもあると思いますが、その迷いを解消できるヒントをもらえるかもしれません。

一日の始まりに頑張る経営者の方たちと話しながら、元気をチャージしてみませんか。



シリーズ
倫理会員企業が
拠点を置く
市町村を紹介
「今」を訊く ③ 天童市
くらしみちの継承

村山地域のへそ、東西南北への 交流起点となる天童市



地域行政との連携企画第三回は、山形、米沢に次いで単位法人会設立の歴史が古い天童市。新型コロナウイルスス緊急事態宣言解除後の六月二十四日、市長就任十二年目となる山本信治市長にお話を伺いました。

■天童市の特徴について

県内十三市のうち面積が一番小さく、村山地域のほぼ中央に位置しています。国道が東西南北に伸び、山形空港へ十分、新幹線の停車する駅もあり、都市交流しやすいとても恵まれた場所



です。そういった立地環境であり、農業、工業、商業そして観光を含めて小さいながらもバランスが取れていて、例えばふるさと納税では年間を通して提供できるものがあるのも特徴と言えます。

■道の駅天童温泉にある

「もりゝな天童（森林情報館）」以前より、この施設で賑わいをつくりたいという課題がありました。二年かけて準備をし六月十三日ようやくリニューアルオープンを迎える事ができました。天童の特産として「将棋駒」、生産量日

本一のフ・フランスを中心に観光の情報を発信していきます。

■将棋への思い

施設の中では将棋駒職人が実際に仕事をしながら、来館者は間に駒に文字を彫る作業を見ることができます。職人を育成するために、質の向上と共に量を作る機会の創出が大事。そのためにもこの施設で販売まで行い、駒師として暮らしが成り立つように仕組みを作っています。伝統が継承できるようにこの事業を大切に育てていきたいと思っています。長い歴史と伝統を誇る天童の将棋駒産業にとって、藤井聡太七段の活躍や将棋をテーマにした映画のヒットによる将棋の再ブームはとも有り難い兆しです。

先日天童で開催された名人戦では、天童在住駒職人の桜井亮さんの駒が見事選ばれました。



このようなニュースは市民の誇りです。さらに天童から初のプロ棋士の誕生に向け、現在小学生と中学生の二名が奨励会に挑戦しており、狭き厳しい門へのチャレンジを応援しています。

■座右の銘

「一視同仁」「泰然自若」。企業経営者という立場から未経験の行政首長に就いた時、これまでの経営とは全く違う視点を持たねばならないと気づきました。どんな人も同じ目線で見、同じ愛を注ぐ、「一視同仁」は、公平性、透明性にも繋がる大事な視点だと思っています。そして、今まで経験したことがない事が増える状況下で、迷わない判断をするために「泰然自若」という言葉を念頭に置き、様々な問題にも平常心で対応していくようにしています。

■オフの過ごし方

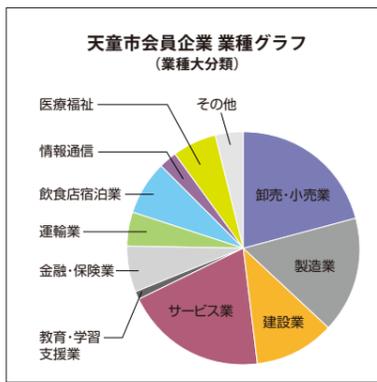
野菜作りが好きです。自分で育てた野菜はどんなに形が悪くても格別な美味しさがありますね。最近では休んでいましたが、また始めたいと思っています。健康のためにスポーツジムにも通っていました。今は犬の散歩で体力を維持するように心がけています。体調管理の面では、楽しく美味しいお酒も飲む事も、実はとても大切に思っています。

■コロナ禍に思う事

行政に関わって一番苦労したのはいつか、振り返ってみてもやはり今が一番大変だと感じます。収束が見えず、経済がどこまで回復するか先が見えません。新生活様式がニューノーマルな状態になるまで、適応力を養わなければならないと思います。新型コロナウイルスと共にどう立ち回っていくのか。また、何十年に一度と言われる自然災害も毎年のように起こっている中、どう暮らしを守るのか。私たち行政は惜しまず努力しておりますが、行政だけで完結できること

■倫理法人会について

「万人幸福の栞」には、人間の生き様に対する教え・道標が書いてありますね。会の皆さんは集い学び、企業経営に生かしている。是非社員教育でも学びを浸透させて、企業を良い方向に導いて欲しいと思っています。



左から斎藤栄司村山地区長、土屋忠彰県広報委員長、山本信治天童市長、天童市加賀善子会長、五十嵐久仁子県広報副委員長

●好きな十七カ条
〔八〕明朗愛語 明朗は健康の父、愛和は幸福の母
〔十四〕心即太陽 希望は心の太陽である
特にコロナ禍の今、この二つの言葉が響きますね。健康であることの大事さ、そしてこのような厳しい世の中でも明るく希望をもって生きていくことの大事さを教えてください。

PICK UP NEWS

新型コロナ感染防止対策として各単会では、相次ぎ ZOOM によるモーニングセミナーが開催されました。回を追うごとにリモートでの運営がスムーズになり、減多にお会いできない遠距離の方も参加されるなど、状況を受け入れ「ならでは」のコミュニケーションを確立しています。今号では、困難な状況でもリーダーとして各単会運営に尽力された会長のみなさまにメッセージをいただきました。



山形市蔵王倫理法人会 会長メッセージ

活動再開・新しい生活様式のお役に立つ会に

「命を守る」事と「生きていく為の活動を行う」事を両立させる新しい生活様式の中会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。



会長 鈴木重幸
(株)鈴木製作所

山形市蔵王倫理法人会は、コロナの感染拡大の中、皆様の健康と安全・安心を守る為、二ヶ月半にわたり、モーニングセミナーはじめ諸活動を中止致しました。

その際には会員の皆様から活動中止にあたりご理解・ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。六月よりコロナの感染防止対策を十分に実施しモーニングセミナーを再開しております。八月からは講師の先生をお招きしまして通常通りのモーニングセミナーはじめ諸活動を展開して参りますので、ご参加の程よろしくお願い申し上げます。

コロナという病気によって、今、人の生き方を問われていると実感しています。この様な時こそ葉の十七ヶ条の理解を深め一つ一つ実践をしていく事がこの難局を乗り越えていく近道だと思います。皆様からのご参加お待ちしております。

上山市倫理法人会 会長メッセージ

モーニングセミナー再開

約三ヶ月に渡りモーニングセミナーを休ませせていただきました。したが、六月十二日より再開させていただきます。参加に当たっては、手指の消毒、マスクの着用、間隔をとっての着席など新しいルールを遵守した上で、これを習慣としていくことが必要となっております。



会長 塚健一郎
(株)月岡ホテル

この数ヶ月間、リモートでの会議、講演を体験しましたが、話を受ける伝えることにおいて、一堂に会することの貴重さを改めて感じ入りました。

講話者の声はマイクを通して聞こえますが、マスクをしての講話は、会場の一体感がいつもと違う気がしています。やはり、拝顔しながら拝聴した方が、一層お話が生きてくるものと思われました。そのため、次回からは壇上にフェイスシールドを設け、講話者の方にはマスクをとってお話いただくようにしております。新しい形のモーニングセミナーに安心してご参加下さるようお待ちしております。

山形市倫理法人会 会長メッセージ

今こそ「葉」の読み込みと実践を!

『何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ やがて大きな花が咲く!』
オリンピックマラソン金メダリスト、高橋尚子さんの座右の銘です。



会長 岩見信弘
(株)アサヒマーケティンク

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、三月から倫理法人会活動が自粛することとなりましたが、その後「新しい生活様式」に基づき六月一日からモーニングセミナーが再開されました。大きな声を出してはいけません。歌ってはいけません。密になってはいけません。およそ倫理法人会らしからぬモーニングセミナーではありませんが、再開できた喜びはひとしおでした。六月は、Webコンテンツを使用、臨場感はないものの慣れれば違和感なく学べることに気づき、いよいよ七月からは、講話者を招いてのモーニングセミナーがスタートしました。

ようやく一歩、毎週火曜日朝の日常が戻ってきました。まだまだ予断を許せない状態が続いていますが、このコロナ禍の中、外部環境を変えることは至難の業ではあるけれど、自分の「いま」と「未来」は心の持ち方でいかようにも変えることができる!そう信じて「万人幸福の葉」を読み込み、書かれたことを理屈なしに実践してみる!自分の根っこを鍛える絶好のチャンスなのかも知れません。

改めて休会中、会を支えて頂いた会員の皆様により感謝申し上げます。これからもより良い「学びの場」「気づきの場」を一所懸命提供して参ります。

※ホテル休館中にもかかわらず、会場、朝食を提供して下さいました。ホテルメトロポリタン山形様に心より御礼を申し上げます。

山形市霞城倫理法人会 会長メッセージ

モーニングセミナーに感謝

霞城会員の皆様と他単会の皆様に支えられモーニングセミナー開催が一六〇回を超えました。本当に感謝いたします。コロナ禍においてお休みし、その後Webモーニングセミナーに切り替え、冷静に考えると気づきがありました。講話者から学び、運営で学ぶというのが倫理の表向きの良さであって、実は、毎週顔を合わせてこれだけ密で、信頼関係と絆が生まれる場はそうないはず。本当の良さは、人となりがわかり相談したり頼ったり頼られたりという倫友という心の財産をいただけるのがモーニングセミナーなんだとわかりました。入会当時モーニングセミナーに参加は無理と思っていましたが、お役を頂き「手伝って欲しい」と頼まれたらそんなりと参加できました。人のために動いたら、実は自分のための気づきがいっぱいでした。



会長 菅野美奈子
AISOH企業組合

今後、新会長、役員のお陰で、多くの人が笑顔で参加し良さを体感できるモーニングセミナーを開催できることに感謝は続きます。

西置賜
倫理法人会
会長メッセージ

コロナに負けない モーニングセミナー

会長 高石 夫
(株)ライフステーション



西置賜倫理法人会
会員の皆様には
倫理活動にご理解
とご協力を賜り感
謝します。

コロナ自粛で四月一日からモーニングセミナーが延期となり六月三日待ちに待った倫友との再会。事前に準備をしていた「感謝」と書いた、じょう文字を参加者全員に配らせていただきました。小国町、白鷹町、飯豊町との交流会も流れてしまい八月末まで、できる範囲での、交流会を実施したいと考えています。モーニングセミナーに、参加できない会員向けに講話の内容と雰囲気と感想を伝える、まいぶれ長井アプリ「西置賜倫理法人会のメニュー」から配信。当会の活動の様子を会員外でもニュースから見る事が出来ます。これからもコロナに負けない活動と楽しいモーニングセミナーで皆さんに喜ばれる講話を企画していきます。役員一同笑顔でお迎えますので足を運んでください。ありがとうございます。

南陽市
倫理法人会
会長メッセージ

身を清浄に、 行いを慎み ——会員各位に——

会長 北野 達
(宗)熊野神社



最近の感染症に
ついて、無責任な言
説が横行し、社会
の不安を煽っていま
す。こうした中、外
務省発行の雑誌『外交』で、対策専門家会
議委員の押谷仁氏がインタビューに応じ
ています。専門家会議には斯界の代表的
な研究者が招集され、多くの情報が集積
されています。信頼に値する発言でしょう。

押谷氏は、接触者の陽性率は非常に低
いと明言しています。尾身茂氏(専門家会
議副議長)は、他に感染させるのは陽性者
の二〇%だと言います。陽性者が出て、
必要以上に恐れることはないでしょう。

押谷氏は、感染症対策には「野生の思考」
しかないと言います。人知の及ばない存在
を認め、ある程度受け入れ、西洋的思考
に拘泥せず、社会に即応した態度で接す
必要があるということです。日本人は、人
知を超えた存在に出会った時には、身を
清浄に、行いを慎み、畏敬して対処して
きました。日本人の生き方が私どもを助
けてくれるに違いありません。

鶴岡市
倫理法人会
会長メッセージ

会長から見える景色

会長 三浦 忍
(株)三浦土建



今年度後半は、
コロナウイルス対策
でよもやのモーニン
グセミナーの休会、
倫理経営講演会の
中止と設立以来初めての経験をしました。
休会の間、会員の皆様に会長挨拶の代わり
という事でメッセージを送らせていただき
ました。文章の苦手な私にとっては大変な
作業でしたが、今までの講話を思い返し
たり、資料を読み返したりしながら毎週自
分の思いを文字にしていくな作業は私にと
って倫理の学びを再確認するいい時間とな
りました。

そして、六月も中半、待ちに待ったモー
ニングセミナーの再開。まず歴代会長の
方々に講話をお願いしたところ皆さん二
返事でうけていただき、さすが会長経験者
の面々、お一人おひとり重みある講話は
長をやり通した人にしか見えない景色が
あるのだろうと改めて感じたところです。

私も、会長として二年目の扉の先の景色
が歴代の会長が見ている景色に少しでも
近づけるよう決意と覚悟をもって臨みたい
と思います。

庄内中央
倫理法人会
会長メッセージ

心の免疫力を高める

会長 阿部 敦
(株)庄内電気設備



今年の三月十七
日のモーニングセ
ミナーを最後に、六
月十七日まで三ヶ
月間リアルに会員
の皆様と会う機会まで失ってしまったこの
感染症。まだ先が見えない状態での六月
からのモーニングセミナーの再開。私は今
何を考え行動しなければならぬのか?
選択した事柄が本当に正解なのか?また、
我々だけではなく、世界に目を向けると、
とても厳しい状況下で過ごされている方々
も沢山いる現実。とても不安な中で生活
で、この倫理活動をもう一度しっかりと見
つめなおすことに最善を尽くしました。家
庭や事業、家族や社員、全体が揺らいで
いる中、何れも万人幸福の葉を読み返し
ました。そこには私自身の心の免疫力を
高めることにより、関わる全ての事柄に悠
然と立ち向かうヒントが沢山ありました。
心の免疫力を高めるには倫理の教えが一番
だと改めて感じました。

酒田市
倫理法人会
会長メッセージ

万人幸福の実現!

会長 今井和彦
(株)カスタムエージェンツ



六月二日の県役
員会で発表した実
践思考を導き出す
くオープンマインド
ウ64のものとも大
切な箇所を改めて書き記します。

- 一、尊己及人(影響力を身に付ける!)
毎週モーニングセミナー後の普及活動、
会員企業の訪問。
 - 二、疾病信号(生活習慣の改善!)
 - 三、捨我得全(利己心を捨てる!)
 - 四、夫婦対鏡(互いに愛し合う!)
 - 五、子女名優(両親の模範!)
 - 六、明朗愛和(いつも喜んで!)
 - 七、苦難福門(すべてに感謝!)
 - 八、人生神劇(毎日礼拝する!)
- 正しい宗教観を持つ。家系図を作る。

酒田市みずほ
倫理法人会
会長メッセージ

職場でも 万人幸福の葉輪読

会長 佐藤清和
(有)チャンス



大転換の時代、
何が起きてもおか
しくないことを、
実際に私たちは経
験しています。

コロナ禍で、私達経営者、職場のリー
ダーにとって、学ぶべき事柄、気づきが
多く有りました。今こそ倫理経営を学び
実践する時。運命を切り開くは己である。
境遇をつくるも亦自分である。己が一切で
ある(運命自招)人生は神の演劇、その主
役は己自身である(人生神劇)。「己」の字
は葉の中に二十六カ所あります。そして
私達は改めて「自然」への畏怖の念を感じ
ています。「自然」の字は葉に二十三カ所
出てきます。(伊藤俊郎法人スーパバイ
ザー)問題解決の答えは全て葉の中に有る
ことを私たちは学んでいます。休会期間
中のみずほの実践テーマを「職場でも万人
幸福の葉を輪読しよう」と致しました。葉
を全社員で輪読することこそコロナ禍を
乗り切る法と確信いたします。